



職員の人生や家庭も見つめ
気持ち良いサービスが
出来る環境をつくる。

有限会社 つだ福祉サービス

教育・医療・福祉

04

取締役 山野内 寿江さん



▲人材の大切さについて語る山野内 寿江さん

平成13年にグループホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所を開設しました。開業当時は認知症の方がデイサービスを利用して、ショートステイ(宿泊)を利用する場合は他の施設を利用しなければならず、認知症の方が混乱するなどして一般的な施設を利用することが様々な面で難しい状況でした。「何とかできないか?」と考え、泊まりまで利用できる「宅老所」と呼ばれる事業を始めました。その後、平成18年の介護保険法の改正で創設された地域密着型サービスにより、泊まり・通い・訪問の3つを兼ね備えた小規模多機能型居宅介護も始まりました。弊社も次々と開所して現在は3件を運営する他、グループホーム1件、居宅介護支援事業所1件を運営しています。

弊社の経営理念が「尊厳ある依存」です。高齢者でもどのような方でも自立が続けばいいのですが、誰かに頼らなければいけない時があります。また障害を抱えて生まれて支援を受けなければならぬ人などはずっと「お願いします」と言い続けなければならないのかと思うと、私はそうではないと考えています。

人財を採用する前に「働きやすい職場」を整えることが一番だと考えますから、職員さんを守る上で必要な保険や福利厚生を充実させています。また、役割があること意欲向上やスキルアップにつながると思いますが、負担になると逆効果だと思ってしまうので、できないかを尋ねています。



▲施設内の様子



▲利用者に語りかける様子

採用する際には、それまでの人生を振り返り、「なぜ働くことができなかったか?」などを聞き取りし、未経験者であっても「大丈夫だ」と感じた方を採用したいと考えています。資格取得に関する研修費等は全て会社でバックアップするので安心してチャレンジして欲しいと思います。



▲施設周辺の風景

現在は中途採用の方が大半を占めています。介護経験者であれば、ゼロからスタートするのではなく、

それまでの経歴をプラスして給与等級を決めています。また経営者として職員だけでなくその家族を含めて考えなければなりません。人材は宝です。「つだ福祉サービス」という大きな船に乗っている職員・家族です。この船から一人も落ちることなく進めて行きたいと思えます。



▲渡部牧子さん

介護福祉士
渡部 牧子さん

美容室を20年ほど経営していましたが家庭の事情で閉店しました。姉が介護職だったこともあり、進められて資格を取得して福祉の仕事にチャレンジしました。平成25年に入社してからは介護福祉士の資格も取得させて頂きました。命を預かる仕事だからこそプレッシャーや緊張の連続だったためか、途中ヘルニアを患い転職も考えました。しかし、役員から「病気も一緒に、長く付き合っていこう」と言ってくれ、リハビリに通いながら短時間勤務を経て、今では腰ベルトも使わずに仕事ができるようになりました。

利用者の方と過ごすことがとても楽しくて、人とふれあえるこの仕事

が「天職」だと感じています。ある時、娘が友人に「お母さんはいつも明るく楽しそうに仕事しているよ」と自慢してくれたのですが、それが何より答えだと感じています。一歩踏み出して違う人生を歩んでみて良かったと思っています。

今は「本当の自分」を出せているような気がします。

「もういいよ」と言われるまで仕事をしていきたいと思っています。

Information		住所	延岡市東浜砂町1114番地1	電話	0982-28-2727
資本金	700万円	従業員数	70名	企業訪問	可
WEB	http://tsuda-well.jp			インターンシップ	可
		E-mail	公式サイト内お問い合わせ		

